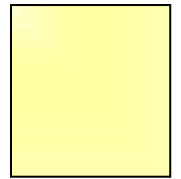
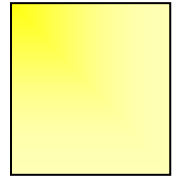
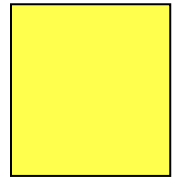
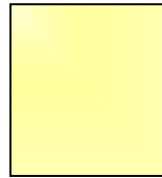


(様式：13-01)

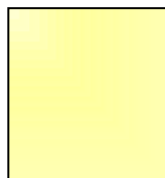
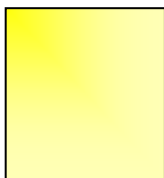
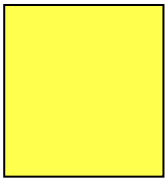
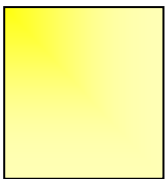
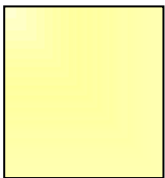


紺藤織物 株式会社

2017 年度 環境活動レポート

【 2016 年 9 月～2017 年 8 月号】

作成日 ： 2017 年 11 月 30 日



ご 挨 拶

紺藤織物株式会社は事業活動を通じて、持続可能な社会の発展に貢献していきます。私たちは、法令を遵守することはもとより、多様化するステークホルダーの期待や要望に応えるために、積極的なコミュニケーションを図り、私たちに何ができるかを、常に考え、社会的責任を果たす活動を自主的、かつ積極的に推進していきます。

当社の環境活動においては、「母なる湖」琵琶湖を世代を超えて共有すべき財産として守り伝えていくため、湖と企業活動の共生をめざし、エコアクション 21 活動を柱に、一層の環境負荷低減に努め、自然と人類の共存を図る取り組みを行っています。

紺藤織物株式会社

代表取締役社長 山 川 藤 治



環 境 方 針

当社の産業資材用織物及び撚糸コードの設計・開発、製造及び販売活動の中で、環境保全が経営の重要課題であることを認識し、エコアクション21 環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。
 - (1) 脱地球温暖化社会のための省エネルギーとして、電気使用量を削減します。
 - (2) 循環型社会のため 単純焼却の廃棄物を削減します。
 - (3) 省資源のためロスを低減します。
 - (4) 水資源の節約として 上水を削減します。
 - (5) 作業環境を全員参加の5 S改善活動で進めます。
 - (6) 化学物質の適切管理の推進
 - (7) 事務用品及び消耗品のグリーン購入を進めます。
 - (8) 納品時に使用する梱包資材をリユース出来るものに切り替えを促進します。
 - (9) 事業所周辺の水辺の環境や生き物の保全活動を行います。
4. 全従業員にこの環境方針を周知します。

最新改定日：2010年8月27日
制 定 日：2006年8月19日

滋賀県高島市新旭町藁園1498番地
紺 藤 織 物 株 式 会 社

代表取締役社長 山 川 藤 治

I. 事業者活動の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
事業者名 紺 藤 織 物 株 式 会 社
代表取締役社長 山川 藤治
- (2) 所在地
滋賀県高島市新旭町藁園 1498 番地
- (3) 環境保全関係の責任者及び推進者連絡先
責任者 総務管理部長 : 中村 宏幸 TEL : 0740-25-3431
担当者 技術部長 : 福田 藤博 TEL : 0740-25-3431
- (4) 事業内容
産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売
- (5) 事業の規模
主要製品生産量 3,166ton／年（2017 年度実績）
従業員 86 名（2017 年 8 月末日）
工場延べ床面積 13,709 m²
- (6) 事業年度 9 月 1 日～8 月 31 日

II. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：紺藤織物株式会社（全組織・全活動対象）
活 動：産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売



Ⅲ. 3年間の事業の規模と負荷の取りまとめ

事業規模

活動規模	単位	2015 年	2016 年	2017 年
生産重量	t	3,276	3,166	3,208
売上高	百万円	1,198	1,162	1,164
従業員	人	82	83	86
床面積	m ²	12,632	13,709	13,709

環境への負荷の状況

		単位	2015 年	2016 年	2017 年	特定した 環境負荷
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	27,622,280	2,526,806	24,976,703	○
	購入電力	kwh	2,809,998	2,570,377	2,540,865	○
	化石燃料	MJ	1,022,516	937,304	1,084,444	
② 総物質投入量	資源投入量	t	3,548.7	3,386.6	3465.9	
	循環資源投入量	t	2.8	3.5	2.4	
③ 水資源投入量	上水	m ³	537	516	647	○
	地下水	m ³	800,400	794,600	783,000	
④ 温室効果ガス排出量	【二酸化炭素】	Kg-CO ₂	1,404,201	1,284,515	1,280,730	
⑤ 化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t	0.34	0.24	0.26	
⑥ 総製品生産量又は 総製品販売量	製品生産量	t	3,276	3,166	3,208	
	容器包装使用量	t	5.4	8.8	4.7	
⑦ 廃棄物等総排出量	再生利用	t	99.1	234.7	110.7	
	単純焼却	t	12.5	7.7	10.8	○
⑧ 総排水量	公共用水域	m ³	800,163	794,358	783,152	
	下水道	m ³	774	758	714	

Ⅳ．環境目標とその実績

今期（2017 年度（‘16/9～’ 17/8））は第 4 中期環境目標計画の 2 期目となります。第 4 中期環境目標の基準年度は 2014 年度（‘13/9～’ 14/8）としています。

項目	年度	2014年度(基準年度)	2016年度	2017年度		2018年度
		(‘13/9～’ 14/8)	(‘15/9～’ 16/8)	(‘16/9～’ 17/8)		(‘17/9～’ 18/8)
		実績	実績	目標		目標
購入電力に起因する二酸化炭素排出量の仕掛長さ当たり (kg-Co2/km)		142.84	149.60	141.41	162.50	140.70
単純焼却廃棄物に起因する二酸化炭素排出量の仕掛長さ当たり (kg-Co2/km)		3.12	2.52	2.78	2.65	2.75
上水量 (m ³ /年)		576.0	516.0	532.8	647.0	532.0
5S改善活動 (点/年以上)		50.4	51.0	52.0	58.2	53.0
ロス率の低減 (%)		6.15	6.47	6.13	6.08	6.12
化学物質の適正管理 (AK-35 (PRTR 法非該当)) 使用量計測		12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済
事務用品・消耗品のグリーン購入 アイテム比率 (%)		54.7	53.6	57.0	55.1	58.0
燃送り品の段ボール梱包削減 段ボール比率 (%)		59.1	52.4	52.6	63.1	52.0
環境保全活動への参加		お魚ふやし隊参加等	31名	34名	34名	前年比10%up

【補足説明】

1. 第 4 次中期環境目標（2016 年度－2018 年度）に使用する原単位は、製品（織物）長さ（km）としています。
2. 購入電力に起因する二酸化炭素排出量の排出係数は 2014 年度関西電力実排出係数 0.475kg-Co2/km を使用しています。
3. 水資源は、計測上の問題から上水のみを目標としています。地下水は平成 29 年 7 月 6 日に水質分析を実施し、第 3 者機関より水質汚濁環境基準に合致している証明を頂いております。
4. 化学物質の管理において、当社では PRTR 法に基づく物質を一切使用しておらず、検査時に使用する有機溶剤（汚れ落とし）の AK-35 の適正管理に努めます。
5. 生物多様性に関する取組みは、当地域で開催される環境保全活動に積極的に参加し、参加延べ人数としています。

V. 2017年度 環境活動の具体的な取り組みと評価

取り組み	結 果
1. 電気量の削減・・・製品（反物）長さ対比 （1）製造部全体の稼働率 UP （2）織機、送風機等のVベルトの切替え （3）コンプレッサーの適正運用 （4）冷暖房のメンテナンス強化 （5）夏場の工場の遮断・断熱工事を実施	【評価結果 ×】 目標値 : 141.41kg・CO₂/km 以下 実績値 : 162.50kg・CO₂/km 達成率 : 87.0% 今期は一部の生産調整した製品が、原単位である織物生産長さに与える影響が大きく関わり、目標未達成となった。また、一部燃糸品は原単位からの除外としていたが、新工場での本格生産がはじまり、大幅に増加したことで、電気量だけが加味された結果、目標との乖離が大きくなった。経営的にみれば、『売上高/電気使用量』においては基準年度5%改善しており、活動自体は問題ない。
2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・製品（反物）長さ対比 （1）リユース、リサイクルへの分別を徹底する （2）プラダン敷板の活用、廃段ボール、仮包装用テープ、ppバンドの削減	【評価結果 ○】 目標値 : 2.78 kg-Co2/km 以下 実績値 : 2.65 kg-Co2/km 達成率 : 104.8% 一昨年からの課題のある課へのアプローチが継続され、今期も強化できたことが奏功した。
3. 上水量の削減 （1）使用実績を掲示 （2）節水啓蒙シートを掲示	【評価結果 ×】 目標値 : 532.8m³/年 以下 実績値 : 647.0m³/年 達成率 : 76.7% 大幅な未達成となった。原因は、1月の豪雪時に必要に迫られ融雪用として使用したため。原因は、一過性であり問題は無い。
4. 5S改善活動による徹底率の向上・・・5Sチェックリスト （1）4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進（毎月の全社会議で成果発表）。 （2）改善提案提出1件以上/4ヶ月/人の励行	【評価結果 ○】 目標値 : 52.0点以上 実績値 : 58.2点 達成率 : 111.9% 目標達成できた。昨年度までの見直しで、「改善ブラッシュアップ計画」を実施したことが奏功し、活動のマンネリ化からの脱皮が図れた。また、5Sの基本を中心に活動したことで、全社員での活動が一層推進できた。
5. ロス率の低減・・・仕掛総計（生産量）対比 （1）ビーム巻反数の改善 （2）捨て耳長さの削減（製品を特定する）	【評価結果 ○】 目標値 : 6.13%以下 実績値 : 6.08% 達成率 : 100.8% 目標達成できた。課題のあった燃糸工程や合織整経工程での生産改善が進んだ。しかし原糸変更及び加工場の一部撤退により試作品増加傾向のため、製織工程からロス増の月が発生している。

取り組み	結 果
6. 化学物質の適正管理 (1) AK-35 (PRTR 法非該当) の適正管理	設定なし
7. 事務用品および消耗品のグリーン購入 アイテム数向上 (1) 既存品のグリーン購入化出来るものを 検討 (2) グリーン購入品の調査	【評価結果 ×】 目標値 : 57.0%以上 実績値 : 53.6% 達成率 : 94.3% 通期で目標は達成できなかったものの、グリーン購入アイテム数を増やしているなど、活動を理解して進めているので問題はない。
8. 燃り送り製品の段ボール梱包の削減… 生産量対比 (段ボール使用比率) (1) 梱包用箱をプラダン箱の使用の推進 (回転効率化) (2) 既存使用ユーザー以外との使用交渉	【評価結果 ×】 目標値 : 52.60%以下 実績値 : 63.12% 達成率 : ー% 燃り送り品が他社からの生産移管を受け、出荷量が前年比 119%となり顧客仕様が段ボール箱であるために、段ボールの使用率が増加した。 既存先は、プラ段化とユーザーでの段ボールのリユース化が進み、使用率は低減できている。
9. 地域環境保全活動への参加 (1) 地域の水辺の環境保全活動の調査 (2) 保全活動への参加	【評価結果 ○】 目標値 : 34 人以上参加 実績値 : 34 人参加 達成率 : 100.0% 高島経済会の清掃活動や琵琶湖清掃活動を中心に参加した。例年参加していた「お魚ふやし隊」が社内行事と重なり、参加できなかった。

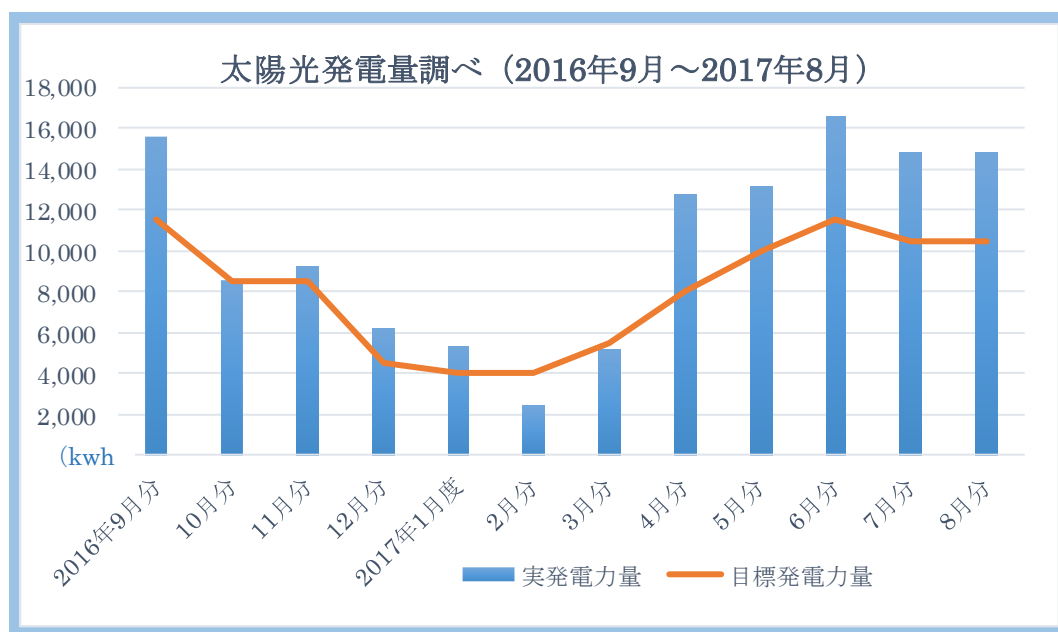
※評価結果 ○ : 目標達成 △ : 目標達成率 95%以上 × : 目標達成率 95%以下

今期の取組みトピックス

◆新工場竣工・太陽光発電設備稼働

2016年4月末に新たに工場を竣工いたしました。環境配慮型工場として、新工場の屋根を利用し、100kwh容量の太陽光発電設備を整備しました。再生可能エネルギーの活用と太陽光パネルを設置することで得られる遮熱効果による工場内の空調の省エネ化も実現しました。

太陽光発電による発電量の実績は、以下の通りとなりました。



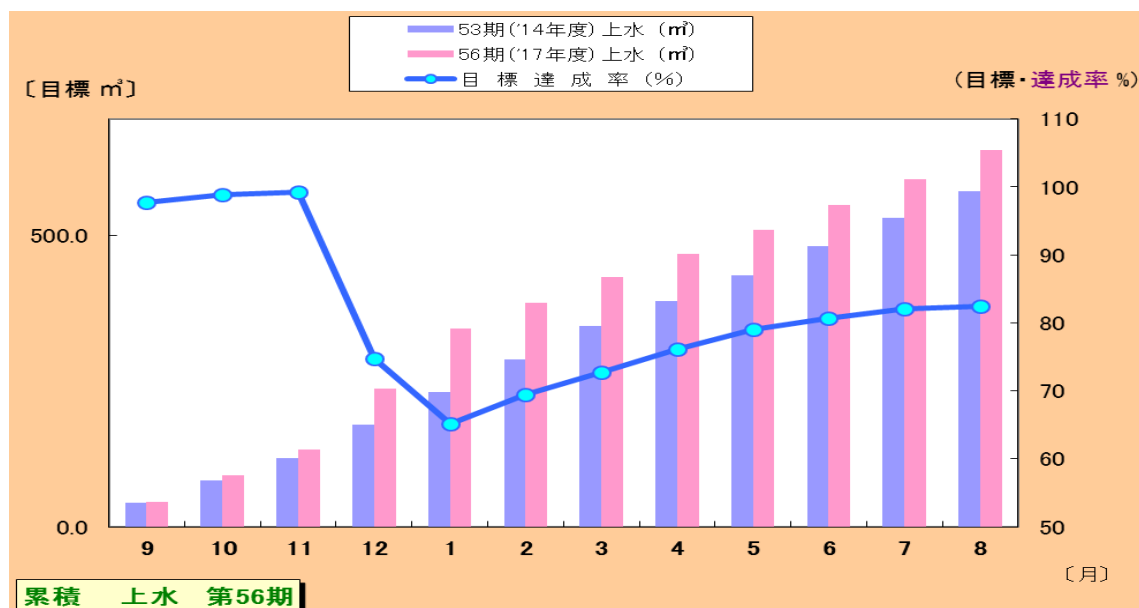
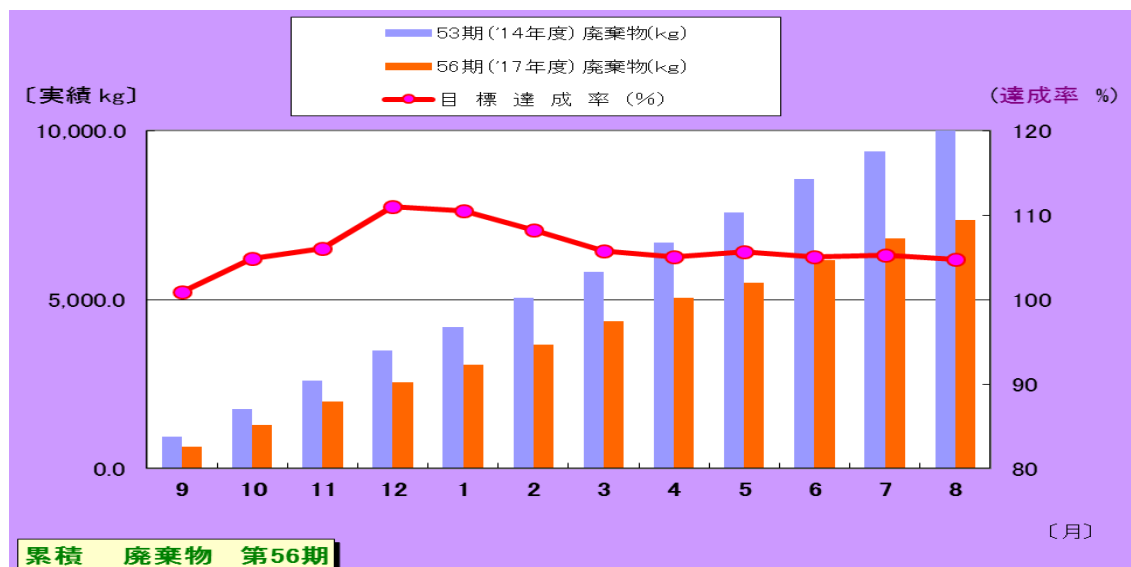
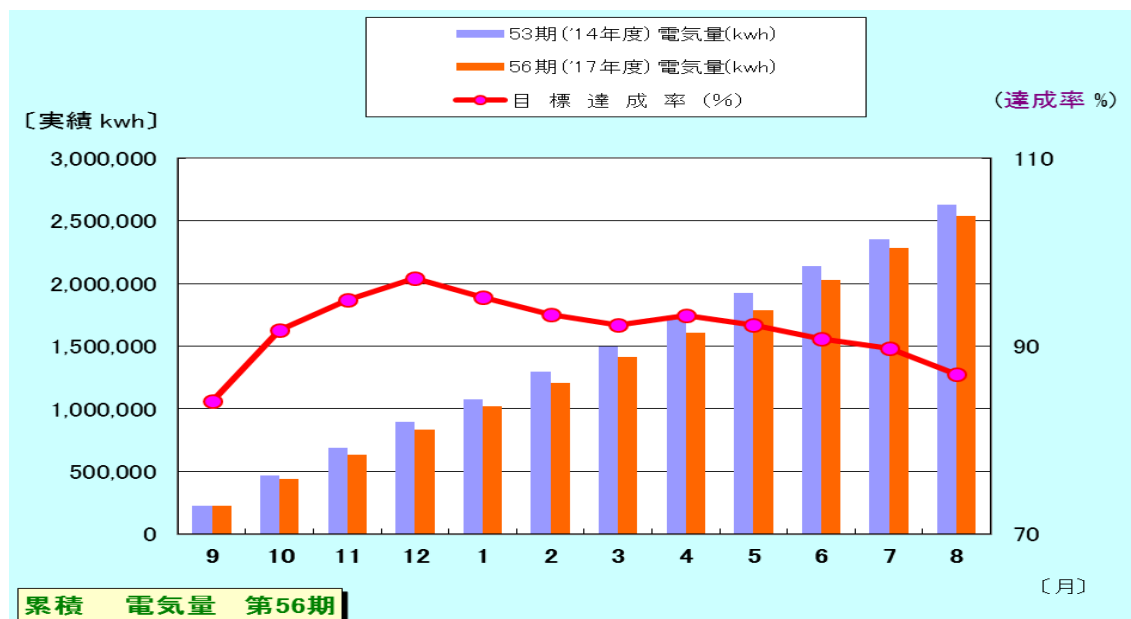
今期は目標発電量以上の発電量の実績（29%増）となりました。今後も、発電設備のメンテナンスを十分に行い、発電効率を保っていきます。

◆エコアクション21 平成28年度 認証・登録10年継続

E A21 を2007年に認証・登録して以来、全社員一丸で環境活動を直向に継続してきました。今年度は、認証登録してから10年の節目となり、去る平成29年6月21日に一般社団法人持続性推進機構 エコアクション21 中央事務局様より、「感謝状」と「クリスタル盾」を賜りました。これからも、全社員で継続して環境経営に努めてまいります。※環境アルバムもご覧ください。

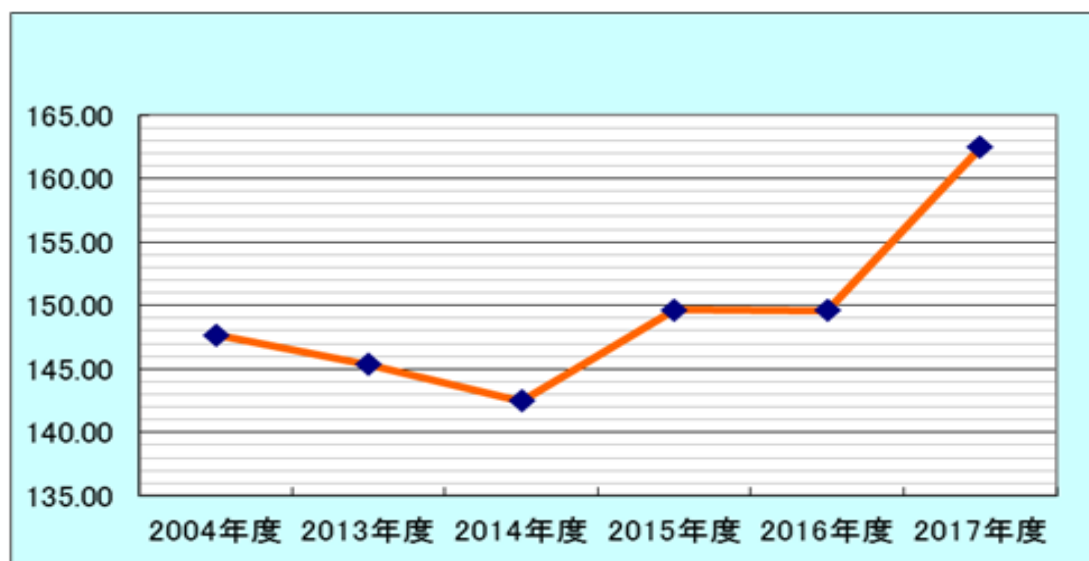


◆今期 実績グラフ

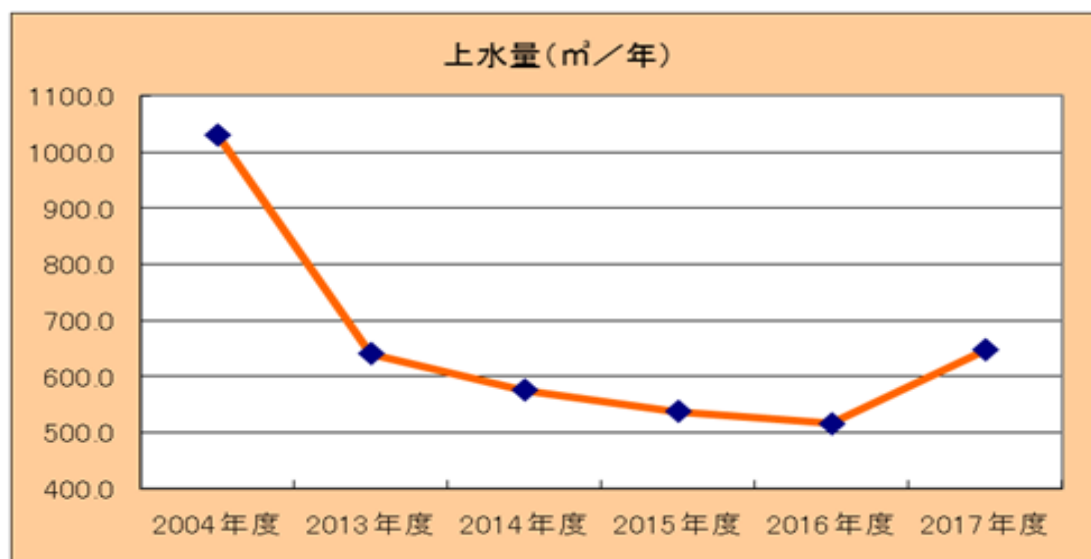
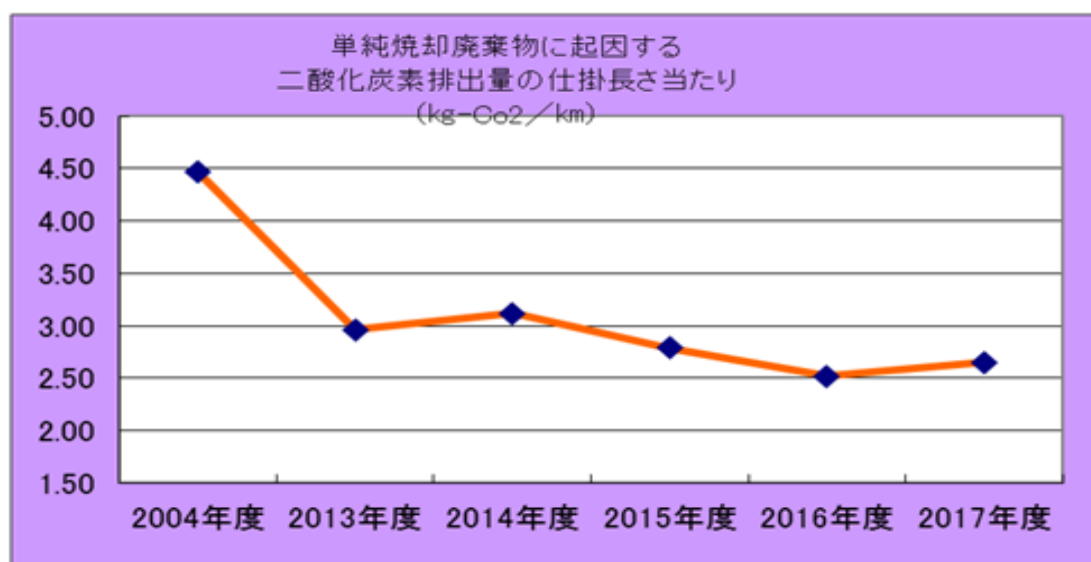


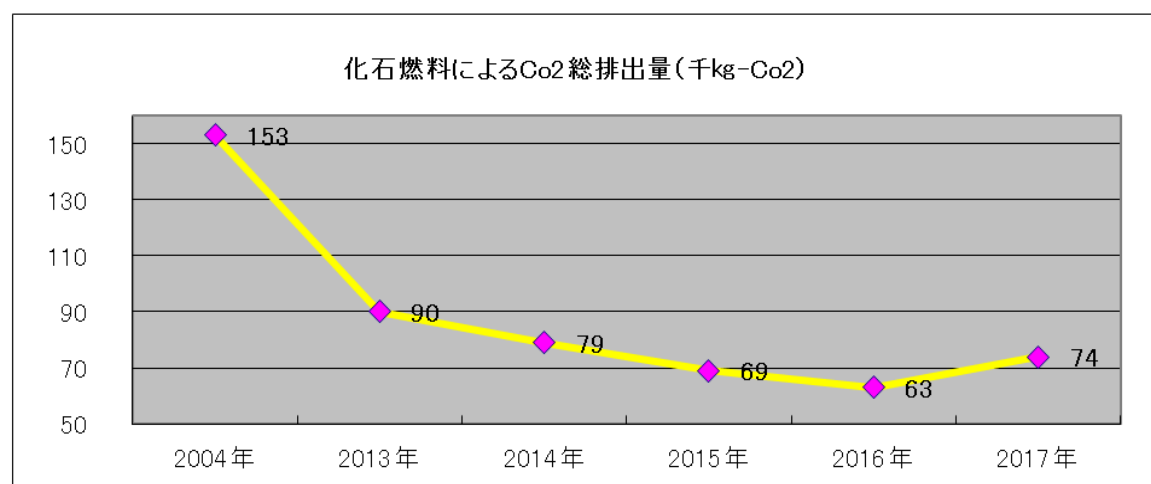
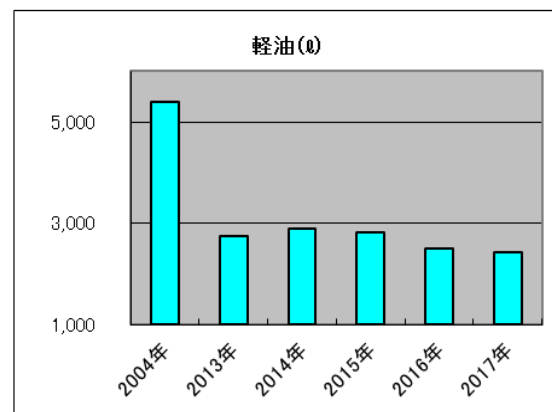
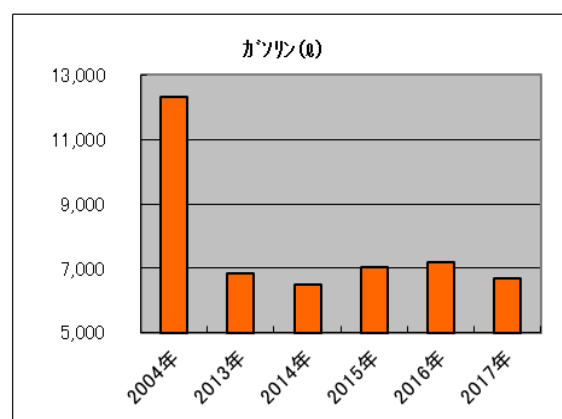
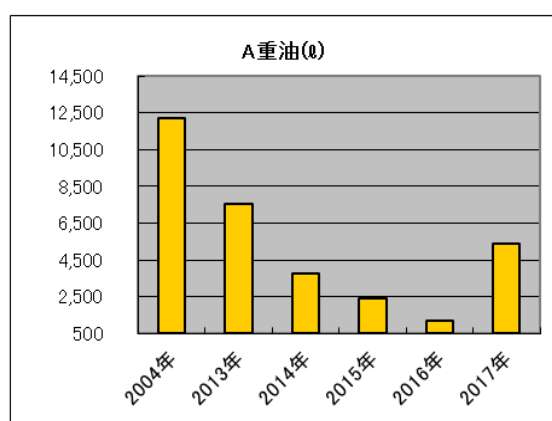
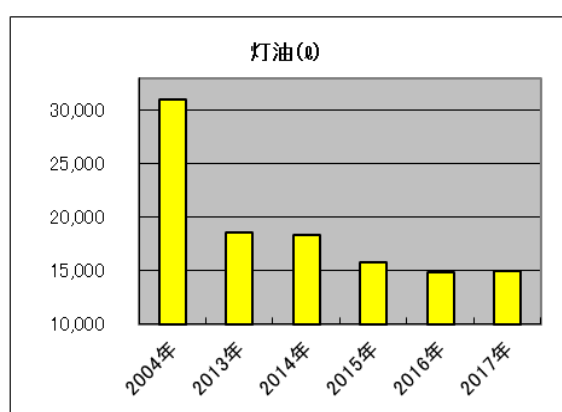
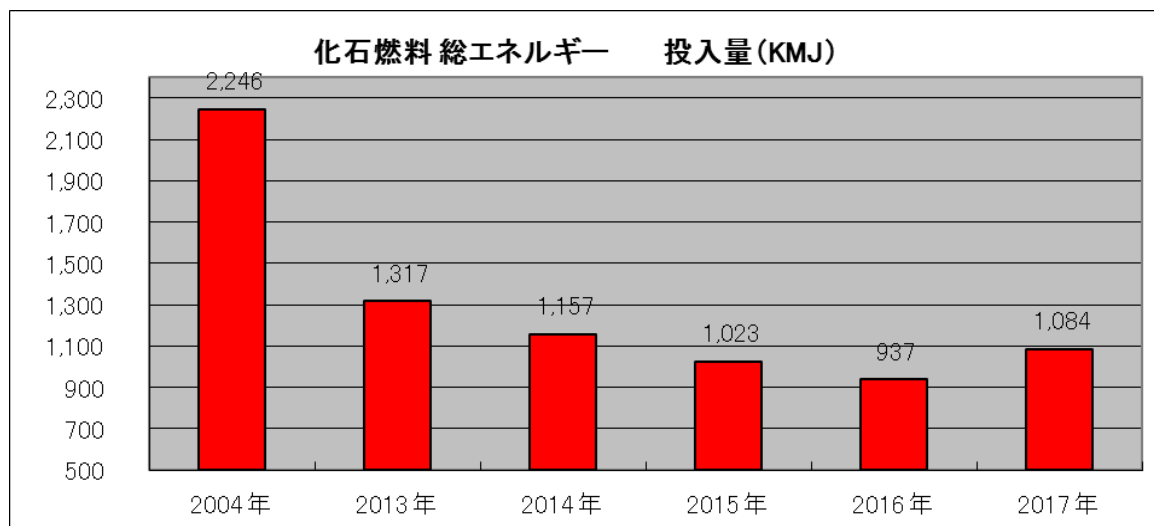
◆EA21 活動数値推移表（抜粋）

※2004年度は、当社のEA21活動をスタートさせた2007年度の基準年度にあたります。



※排出係数は、2014年度関西電力実排出係数0.475kg-Co2/kmを使用しています。





VI. 2018年度 環境活動の取り組み計画

取り組み計画	目標値
1. 電気量の削減・・・製品(反物)長さ対比 (1) 製造部全体の稼働率UP (2) 織機、送風機等のVベルトの切り替え継続 (3) コンプレッサーの見直し (4) 冷暖房のメンテナンス強化(空調の見直し) (5) 生産設備の見直し	目標値 : 140.70kg・CO ₂ /km 以下
2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・製品(反物)長さ対比 (1) リユース、リサイクルへの分別を徹底する (2) プラダン敷板の活用、廃段ボール、仮包装用テープ、PPバンドの削減をする	目標値 : 2.74 kg-Co ₂ /km 以下
3. 上水量の削減 (1) 使用実績を掲示する (2) 節水啓蒙シートを掲示する	目標値 : 532.8m ³ /年 以下
4. 5S改善活動による徹底率の向上・・・5Sチェックリスト (1) 4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進(毎月の全社会議で成果発表) 5Sブラッシュアップ活動「次の一手」 (2) 改善提案提出1件以上/4ヶ月/人の励行 (3) 5Sレクチャー強化	目標値 : 60点以上
5. ロス率の低減・・・仕掛総計(生産量)対比 (1) ビーム巻反数の改善 (2) 捨て耳長さの削減(製品を特定する)	目標値 : 6.12%以下
6. 化学物質の適正管理 (1) AK-35(PRTR法非該当)の適正管理	設定なし
7. 事務用品および消耗品のグリーン購入アイテム数向上 (1) 既存品のグリーン購入化出来るものを検討 (2) グリーン購入品の調査、拡大	目標値 : 58%以上
8. 燃り送り製品の段ボール梱包の削減・・・生産量対比 (1) 梱包用箱をプラダン箱の使用の推進(回転効率化) (2) 既存使用ユーザー以外との使用交渉	目標値 : 12%以上削減 (段ボール率 52.01%)
9. 地域環境保全活動への参加 (1) 地域の水辺の環境保全活動の調査 (2) 保全活動への参加	地域の環境活動参加者 : 前年対比 10%以上増加

VII. 環境関連法規制の順守状況

1. 当社に適用される主な法規制等と現在までの順守状況

法律及び法令の略称	当社に適用される要求事項	順守状況
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃 に関する法律)	一般廃棄物・産業廃棄物の保管および運搬	適
	産業廃棄物の運搬・処理の委託	適
	産業廃棄物管理票の運用、交付等の報告	適
騒音規制法	規制基準の遵守義務	適
	特定施設の届出	適
振動規制法	規制基準の遵守義務	適
	特定施設の届出	適
フロン排出抑制法	簡易点検および定期点検の実施	適
消防法 ・高島市火災予防条例	一定規模以上の事業所に対する規程	適
	第4類危険物の指定数量	適
	指定可燃物の届出	適
	消防用設備等点検結果報告書	適

2. 環境関連法規について

当社の環境関連法規の重大違反はありません。関連当局の違反等の指摘及び住民より苦情も、過去3年間ありません。今後も最新法令を確認しこれを順守します。

VIII. 2017年度代表者による見直し

第4次中期環境計画の2年目の今期は、主要な取り組みで目標が達成出来なかったものもありましたが、内容を分析してみると活動自体は前進しており問題はありませんでした。その他の目標についても、妥当性を確認し、継続して取り組むことにより環境経営システムは前に進むと確信しました。

今期は当社にとって生産項目に大きな変化が起きて、従来から使用していた原単位では、活動の評価が難しくなって来ており、社員の頑張りをもっと現せるような評価単位を来期には検討し、次期の中期環境経営計画には織り込んで行きたいと考えています。

また、前期に新たな工場を竣工しましたが、新工場のハード面、ソフト面をフルに活かし、最適な「ものづくり」を行い、環境負荷の少ない製品をご提供できるように努めてまいります。

上記を踏まえ、環境経営システムは有効に機能し問題なく継続展開をしていきます。

環境アルバム



EA21認証・登録
10年継続記念表彰



EA21認証・登録
10年継続記念表彰



お客様感謝祭
関西一円からいらっしゃーい



びわ湖って、気持ちいい〜



琵琶湖一斉清掃
(菟の浜)



琵琶湖一斉清掃
女性陣、大活躍中

やはり頼れるは、女性陣と・・・
褒めまくり・・・男性は影へと



綺麗になったびわ湖を
バックに